

今年5月に国会での強行採決が見込まれていた「入管法改定案(以下「改定案」)は、廃案に追い込まれました。この「改定案」は、命からがら日本に逃げてきて、難民として保護を求め続ける人々を本国に強制送還するばかりか、さまざまな理由で国に帰ることができず日本に住むことを望む外国人や、支援する市民をも罰することができるようになるというもので、人道的に問題がある

と国際社会からも非難の声が上がった「改悪」案でした。廃案に追い込まれた背景には、3月に名古屋入国管理局で亡くなったスリランカ人ウイシユマ・サンタマリさんの死がありました。夢を持って来日したものの、在留資格を失って入管に収容された彼女は、体調を崩して瀕死の状態にもかかわらず



シナピスでは、この一年も色々なことがありました。特に大きな出来事を取り上げご報告いたします。各地で繰り広げられてきた。シナピスでもさまざまなネットワークと協力しながら、シナピスニュースやホームページを通して、教区のみなさんの「NO!」を国会に届けようと試みました。呼びかけには想像をはるかに超える反響がありました。署名のみならず、国会議員へのFAXやメールの送付、入管法改定に関する学習会や、ウイシユマさん死亡の真相解明を求めるデモへの参

加、難民移住者への寄付など、それぞれが緊急事態宣言中でもできることを探しました。そして、全国で立ち上がった市民の力が結集し、政治をも動かしたのです。政治や社会の主人公は私たち一人ひとりであることを思い知らされた瞬間でした。



しかし、「改定案」は廃案となったものの、入管の長期収容問題や認定率が極端に低い難民認定制度、社会保障が一切なく、就労も認められない仮放免許可制度など、人の尊厳が守られない体制はそのまま続いています。また10月の国政選挙では与党が大勝利、廃案に追い込んだ「改定案」が再度国会に提出される見通しだと聞きます。

「外国人が暮らしやすい社会は日本人も暮らしやすい」、そんな社会を作るのは私たちです。すべての人のいのちと尊厳を守るため、みなさんと一緒に、引き続き声を上げ続けていきたいと思

ミャンマー・アフガニスタン情勢を受けて 「いのちを守ってください」



今年3月に起きたミャンマー軍事政権によるクーデターで、市民の尊い命が脅かされる事態が起きました。このクーデターに抗議する平和的デモ参加者、また救助活動を行う医療従事者に対し、さらには子どもたちに対し、容赦なく銃口が向けられ、私たちは憤りと悲しみのうちに大変心を痛めました。また、軍警察を前にミッチーナの路上にひざまずき暴力を止めてほしいと懇願する修道女の姿は、教会である私たちにとってキリストの生き方を証するものでした。

及ばずながら私たちにできることを始めました。ミャンマーの平和を取り戻し、一日も早く人びとの平和と安全が実現するための働きかけをしてくれるように、メッセージはがきを日本のミャンマー大使館、日本国政府外務省、総理大臣に送るというものです。大阪教区内外から問い合わせが相次ぎ、多くの方がメッセージを各機関に送ってくださっています。現在も引き続き呼びかけています。

また、反政府勢力タリバンによるアフガニスタン制圧の一報が飛び込んでから4か月が経過しました。この間、シナピスと関わりのある人たちの救出のため、現地大使館、周辺国の大使館や外務省の退避要望班と昼夜を問わずやり取りを重ね、策を講じています。国外へ脱出できた人がある一方で、命を狙われ転々としながらチャンスを待っている人がまだまだおられます。

現地にはこれから厳しい寒さが訪れます。経済状況悪化と相まって、飢えや病、テロによるケガを抱え、不安と苦しみのなかにある人びとにとって、越冬はいつにも増して厳しいものになるでしょう。

●アフガニスタンの人びとのために オンラインで祈りの集いをしています。

毎月第2木曜 20時半～(30分)《Zoom開催》

次回は 12月9日(木) 20:30～

ミーティングID: 220 415 3804

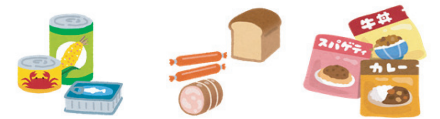
パスコード: 562810



ご支援、ご協力に
感謝申し上げます。
今後とも
よろしくお願いいたします。

難民移住移動者支援
食料品提供のお願い

例) 合わせ調味料、缶詰、塩、砂糖、
食用油、保存のきくもの
ハラル食品、野菜ジュースなど



お電話をお待ちしています
☎ 06-6942-1784



この受領証は、郵便局で機械
処理をした場合は郵便振替の払
込みの証拠となるものですから
大切に保存してください。

ご注意
この払込書は、機械で処理
しますので、口座番号及び金額を
記入する際は、枠内に丁寧に記
入してください。
また、本票を汚したり、折り
曲げたりしないでください。
(郵政事業庁)

この払込取扱票の裏面には、何も記載しないでください。